

2. 農業経営の支援

1 被災地域農業復興総合支援事業(リース事業)

津波により流失した農業機械に代わり、復興交付金事業を活用して集落営農組織に、復旧農地での作付に必要な大型機械(トラクター、田植機、コンバイン等)や育苗用パイプハウス等の施設を無償で貸与し、営農再開を支援しています。

制度を利用した農業者からは、「無料で貸してもらい、何とかやっていると前向きになった。」(荒浜集落営農組合)、「リース事業など様々な支援を受けて水稻を作付できるようになった。」(南部実践組合)などの声が寄せられています。



左から 田植機、コンバイン、トラクター



井戸



育苗用パイプハウス



代かきハロー



農業用機械格納庫

●平成24年度実施概要

対象地区	岡田(新浜、南蒲生)、四ツ谷、笹屋敷、神屋敷、藤田、荒浜、三本塚、二木、井土、南部(種次、藤塚)
主要機械	トラクター43台、田植機24台、コンバイン32台、ロータリー、代かきハロー、播種機、育苗用パイプハウス、井戸、その他営農に必要な各種機械

※平成25年度：大型農業用機械、アタッチメント、育苗用パイプハウス、井戸、農業用機械格納庫等を貸付

リース事業イメージ



2 東日本大震災農業生産対策交付金

農業者が組織する団体、農事組合法人等を対象に、共同利用の施設の導入・修繕、リース方式による農業機械、資材の導入等に対し、国・県・市で補助を行っています。

制度を利用した農業者からは、「被災状況を見て、一度は営農再開を断念したが、事業を活用して、やっぱり農業をやらなければと思った。」(絆組合)、「交付金で乾燥調製施設を建設できたので、助かった。後継者育成も含め、長期的な視点が必要と感じた。」(農事組合法人仙台中央アグリサービス)などの声が寄せられています。

●平成23・24年度実施概要

補助率	82.5%以内(国・県・市)	総事業費	【H23】7億8,700万円 【H24】19億4,900万円
件数	【H23】51件 【H24】28件 ※繰り越し含む	補助金額	【H23】6億300万円 【H24】15億2,800万円
平成24年度整備内容	①共同育苗施設 2件 ②乾燥調製施設 9件 ③農産物処理加工施設 2件 ④生産技術高度化施設 2件 ⑤リース方式による農業機械等の導入 1件 ⑥生産資材の導入 11件 ⑦地域食材供給施設 1件		

※平成25年度予算 13億8,600万円



地域食材供給施設
(農家レストラン)



乾燥調製施設



生産技術高度化施設



3 事業費助成・支援金交付の取り組み

野菜・花きパイプハウス 緊急設置事業

津波による被災で、営農が困難になった農業者(営農集団・認定農業者・エコファーマーなど)がパイプハウスを設置する場合、その面積に応じ市が事業費の一部を助成しています。



●平成23・24年度実施概要

補助率	事業費の1/2以内 1㎡当たり2,650円限度
件数	【H23】15件 【H24】11件 ※営農集団含む
面積	【H23】11,769㎡(78棟) 【H24】24,172㎡(135棟)
事業額	【H23】5,548万円(助成額2,652万円) 【H24】1億3,989万円(助成額6,253万円)

※平成25年度予算 6,625万円

被災農家経営再開支援事業

微細がれきの除去や除草清掃等の営農再開に向けた復旧作業を共同(復興組合設立)で行う農業者に対して、支援金を交付しています。



●平成23・24年度実施概要

取組地区	【H23】4地区(高砂・七郷・六郷・中田)
(復興組合設立地区)	【H24】3地区(高砂・七郷・六郷)
範囲	津波浸水区域内の農地
農家数	【H23】1,573戸 【H24】1,085戸
支援金総額	【H23】6億4,100万円 【H24】4億160万円
10a当たり支援単価	田 35,000円 畑 40,000円

※平成25年度予算 1億4,130万円

東日本大震災農業生産対策交付金 支援先一覧

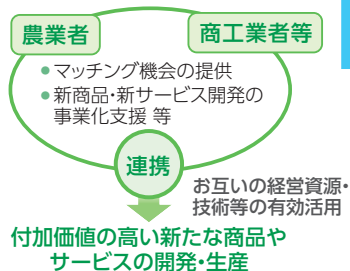
事業実施主体	事業内容
荒浜集落営農組合	資材の導入(水槽 他)
イーストアグリ六郷	資機材の導入(大根洗浄機、農業用ビニール 他)
いぐなfa〜む長喜城	乾燥調製施設の修繕(建屋 他) 農業機械の導入(トラクター、田植機 他)
今泉希望生産組合	農業機械等の導入(トラクター 他) 資機材の導入(パイプハウス・小型管理機 他) 乾燥調製施設の修繕(建屋)
及川洋蘭園	高度環境制御栽培施設の導入(低コスト耐候性ハウス)
大沼農産組合	農業機械の導入(トラクター 他) 資機材の導入(背負刈払機 他) 乾燥調製機械の導入(乾燥機 他)
岡田生産組合	味噌加工施設の導入(建屋 他) 農業機械の導入(トラクター 他) 資材の導入(水槽 他)
荻袋有機農園	乾燥調製機械の導入(色彩選別機 他)
小田切ファーム	乾燥調製機械の導入(乾燥機 他) 資機材の導入(刈払機 他)
株式会社 グリーン菜園	農業機械の導入(トラクター 他) 乾燥調製機械の導入(乾燥機 他) 資材の導入(パイプハウス 他)
株式会社 佐々木産業営農サービス	乾燥調製施設の修繕(乾燥機 他) 農業機械の導入(トラクター 他) 農業機械の修繕(レーザーレベラー) 資機材の導入(播種機 他)
株式会社 みちさき	高度環境制御栽培施設の導入(高度養液栽培施設)
上飯田第一機械利用組合	農業機械の導入(トラクター 他)
絆組合	農業機械リース(トラクター 他) 資材の導入(パイプハウス 他) 乾燥調製施設の導入(建屋・乾燥機 他)
グリーン機械利用組合	農業機械の導入(コンバイン 他)
笹屋敷護穀組合	資材の導入(水槽 他)
笹屋敷水稻施設共同利用組合	乾燥調製施設の修繕(乾燥機 他) 農業機械の導入(トラクター 他)
山王稲作機械共同利用組合	農業機械の導入(田植機 他) 乾燥調製機械の導入(乾燥機 他)
三本塚機械利用組合	資材の導入(水槽 他)
三本塚利用組合	乾燥調製機械の導入(糶摺り機 他) 農業機械の導入(トラクター 他)
七郷ハーベスト	乾燥調製機械の導入(乾燥機 他) 農業機械の導入(コンバイン 他) 資機材の導入(播種機 他)
下荒井カントリー	乾燥調製機械の導入(乾燥機 他)
下飯田水稻協業組合	乾燥調製施設の修繕(乾燥機 他)
四郎丸上親交会機械利用組合	乾燥調製施設の修繕(建屋 他)
セーフティグリーン松元	農産物処理加工施設の修繕(自動餅つき機 他)
仙台農業協同組合	資機材の導入(小型管理機 他) 農業機械の導入(トラクター 他)
十呂盤(そろばん)利用組合	乾燥調製施設の修繕(建屋 他)
高砂生産組合	農業機械の導入(コンバイン)
長喜城アグリ	乾燥調製施設の修繕(建屋 他)
長喜城共同育苗施設利用組合	共同育苗施設の修繕(建屋 他)
南部実践組合	資材の導入(水槽 他)
農事組合法人 井土生産組合	資材の導入(水槽 他)
農事組合法人 クローバーズファーム	高度環境制御栽培施設の導入(低コスト耐候性ハウス)
農事組合法人 新浜協業組合	農業機械の導入(田植機 他)
農事組合法人 仙台イーストカントリー	乾燥調製施設の導入(建屋・乾燥機 他) 農業機械の修繕(トラクター 他) 資材の導入(水槽 他) 農産物処理加工施設の導入(建屋 他) 地域食材供給施設(農家レストラン)の導入
農事組合法人 仙台中央アグリサービス	農業機械の導入(トラクター 他) 乾燥調製施設の導入(建屋 他)
農事組合法人 西多賀三和ファーム	農業機械の導入(田植機 他) 乾燥調製機械の導入(乾燥機 他)
農事組合法人 福鶴ファーム	共同育苗施設の導入(建屋・催芽機 他) 乾燥調製施設の導入(建屋・乾燥機 他) 資材の導入(パイプハウス)
農事組合法人 ゆいファーム	農業機械の導入(トラクター 他) 資材の導入(育苗箱 他) 乾燥調製施設の導入(建屋・乾燥機 他)
浜田水稻生産組合	乾燥調製機械の導入(乾燥機 他) 資材の導入(播種機 他)
ファームTOMO	乾燥調製機械の導入(色彩選別機) 農業機械の導入(トラクター 他)
藤田グリーンファーム	資機材の導入(トラクター 他) 乾燥調製機械の導入(乾燥機 他) 資機材の導入(播種機 他)
六郷アズーリファーム	農業機械の導入(防除用ラジヘリ 他)

※平成23・24年度の支援実績に基づき、掲載しています。 ※事業実施主体名称の五十音順で掲載しています。

3. 6次産業化の促進

1 農商工連携の推進

農業者と商工業者等との連携による、それぞれの持つ資源や技術、ネットワーク等を活かした高付加価値商品・サービスの開発や需要開拓の取り組みを支援し、農業を軸とした地域産業の振興を図ります。



支援メニュー

- **農商工連携促進セミナー**
異業種間の交流を促すマッチングセミナーの開催など
- **新商品開発支援**
農商工連携による事業化を促すための優れた事業計画への支援・仙台産の雪菜とひとめぼれを使用した新たな米粉麺の開発など
支援件数 【H24】4件 【H25】4件
- **農商工連携型農業者雇用モデル支援事業**
被災農業者雇用でその知識・技術を活用する企業への助成
支援件数 【H23】3件 【H24】3件 【H25】1件

2 農業の6次産業化

農業の高付加価値化・高度化に向けて、農業者自身による食品加工・流通・販売への参入、2次・3次産業者との連携等による市場競争力のある作物の生産・新商品の開発・新サービスの提供など、6次産業化を促進します。

また、6次産業の担い手となる農業者の育成を図ります。

1次×2次×3次産業=6次産業化

生産 ▶ 加工 ▶ 流通 ▶ 販売

「農と食のフロンティア創造推進事業」として、6次産業化による農業の高付加価値化や高度化を支援

支援メニュー

- **6次産業化人材育成**
6次産業の担い手となる農業者の育成を図るため、ビジネスとしての農業経営の知識の習得や6次産業化を実践するためのスキルを習得する講座を実施
- **6次産業化推進補助**
6次産業化に必要な機械・設備などの購入補助
補助件数 【H24】3件 【H25】3件

3 農と食のフロンティア推進特区

国の復興特区制度を活用した仙台市東部地域の「農と食のフロンティア推進特区」により、税制面での優遇措置を設けて、農業機械や施設の取得、新規法人の設立などに取り組みやすい仕組みづくりを行っています。この特区により、農業者が将来に希望を持ち、担い手が集まる、収益性の高い農業の実現を目指します。

現在18の事業者が特区の指定を受け、事業を展開しています。

対象区域

津波被害地域及びその隣接地域(東部地区及び四郎丸地区)の農業振興地域約3,000ha



指定件数 事業者数/18事業者 件数/20件

対象事業 区域内の農業振興や集積業種に該当する事業を営む法人または個人事業者が行う雇用機会の確保に寄与する事業

業種 農業
農業関連加工・流通・販売関連産業
農業関連再生可能エネルギー関連産業
農業関連試験研究関連産業

特例措置の内容 税制上の特例措置
○国税(所得税・法人税)の税額控除・特別償却等
○県税(法人事業税・不動産取得税)の課税免除
○市税(固定資産税)の課税免除

特区指定事例

Case.1 農事組合法人 仙台イーストカントリー (平成24年7月20日 特区指定)

震災で一度は法人解散まで考えましたが、市や国の支援を受け、何とか立ち上がりました。翌年には、農産物の高付加価値化を図るため、味噌やおにぎりなどを製造・出荷する加工施設と農家レストランをつくりました。特区指定で不動産取得税や機械などの固定資産税の課税免除を受けることができ、助かっています。

(佐々木 均さん)



設立 平成20年1月15日
所在地 若林区荒井字神屋敷224
代表 佐々木 均(代表理事)

生産から加工、販売まで手がける
6次産業化を実現



Case.2 株式会社 みちさき (平成25年6月27日 特区指定)

震災後、野菜を作れずにいたときにイタリアンレストラン・チェーンから声がかかり、養液栽培にチャレンジすることになりました。これからの農業は、通常の季節的な土地利用型と365日ほぼ出荷できる養液栽培などが一緒になければならないと考えています。若者たちの熱意とベテランの技術の融合を図りながら新しいコミュニティを築き、仙台・宮城の食材生産と農業を担っていきます。

(菊地 守さん)



設立 平成24年7月3日
所在地 宮城野区蒲生字細川63
代表 菊地 守(代表取締役)

ICTを活用し、トマト、パプリカ、イチゴ、ほうれん草、葉物野菜の大規模な養液栽培を実施



eco japan cup2012 エコ復興アワード「絆賞」受賞(平成25年2月22日)

4. 支援拠点施設の整備

新たな支援拠点施設

仙台市農業園芸センターは、力強く農業を再生する「農と食のフロンティア」の支援拠点施設として生まれ変わります。

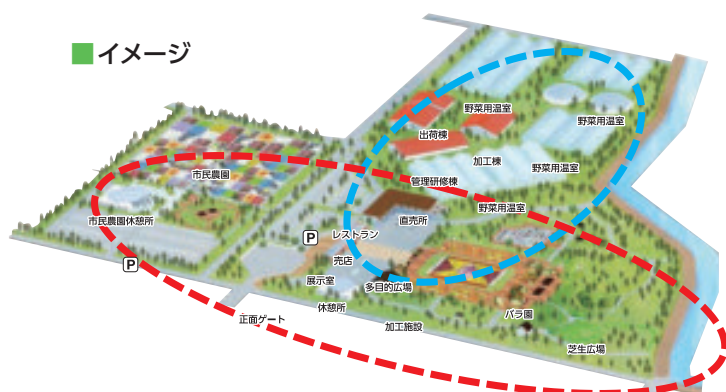
「農と食のフロンティア」では、東部地域を、農業が成長力のある産業に生まれ変わる拠点として位置づけ、農業の担い手が将来に夢を持って安全・安心な「新しい食」のあり方を提案していくこととしています。

仙台市農業園芸センターはその支援拠点施設です。

民間活力の導入

再整備・運営には民間活力を導入し、専門的なノウハウの活用や市場ニーズの的確な把握を通じて、被災した東部地域の復興と仙台市の農業振興、さらに市民と農業との新しい関わり方を発信していきます。

■イメージ



収益性の高い農業推進支援拠点

6次産業化や複合経営等に向けた研修機能や施設園芸、加工施設等の設置・運営による展示機能を配置し、人材育成や情報発信による収益性の高い農業推進の支援を行う。

農と触れ合う交流拠点

市民農園や直売所、広場、レストラン等を設置するとともに、各種行事の開催等により集客を図り、市民が農に触れ、農業者と交流する場としての機能を強化する。

仙台に育つ、農と食のフロンティア・スピリッツ

未来に向かって

震災発生から3年、多様な担い手が、集落営農や6次産業化など未来の農業を目指して挑戦を始めています。

仙台東土地改良区

震災直後、仙台市とJA仙台、仙台東土地改良区の三者で協議し、被災した農地を元に戻すだけでなく農業の将来を見据え、生産性の高いほ場整備を進めようということになりました。平成24年には「ほ場整備推進協議会」をつくり、土地の評価など3つの分野で検討を始めました。さらにその検討を「換地・評価・工事委員会」に発展させると同時に、それまで90人だった委員を一気に230人まで増やしました。被災した農業者に1人でも多く携わってもらって、一緒にこの震災を乗り越えていき

たいと思ったからです。地元の人たちも「農業は生活の糧。こんなことで負けてられない。」と立ち上がりました。その人の輪が広がることで、ほ場整備に着手できるのだと思っています。



佐藤 稔さん



設立／平成8年4月1日
連絡先／若林区荒井字丑ノ頭104
代表／佐藤 稔(理事長)

東北大学大学院農学研究科 菜の花プロジェクト

東北大学が保有していたジーンバンク(遺伝子銀行)から、塩害に強い菜の花を選んで使えば、被災した農家の方々に救えるのではないかと考えたのが始まりです。すぐに仙台市や宮城県と一緒に土壌を調査し、栽培実験も行ったところ、ヘドロを除去すれば作物を栽培できることが分かりました。栽培された菜の花は、様々な企業の協力を得て、生食用や菜種油、ロウソク、プリザードフラワーアレンジメントなどに商品化されています。われわれは、菜の花が商品としての多くの“出口”をもつ

ことを示しました。これからは、農家がより良い出口を選択してどう経営に結びつけるかということになります。栽培した菜の花はハクチョウにすっかり食べられてしまいましたが、春にとうを伸ばして花を咲かせた姿を見て、農家の方々が「自分たちも再び立ち上がらなければ」と言っているのを聞いて、このプロジェクトをやって本当に良かったと思いました。



中井 裕さん



参加団体／東北大学大学院農学研究科、東北大学地域復興プロジェクト“HARU”、ほか支援企業・団体
加ジェネレーター／中井 裕(東北大学大学院農学研究科 教授)

荒浜プロジェクト

JA仙台を中心に東北大学の先生や学生、我々農業者が集まって立ち上げたプロジェクトです。第一の目標は「荒浜集落営農組合」を法人化すること。法人化で、担い手を明確にして荒浜の地域農業を継続し、農地の保全管理をしていきたいと考えています。また、荒浜は津波で全集落が消滅したので、住民も散り散りになりました。ここで農業を続けていれば、例えば貸し農園などを設けて旧住民の集まる場をつくり、コミュニティの再生につなげることができそうです。現在はトマトやイチゴなど、

園芸作物の試験栽培を続けながら適した作物を見極めていますが、今後は、農業の先輩方のノウハウを若い世代に継承していかなければなりません。やる気のある若い人に入ってきてほしいですね。



佐藤 善一さん



参加団体／荒浜地区農業者の代表、東北大学大学院農学研究科、宮城県仙台農業改良普及センター、JA仙台、仙台市
加ジェネレーター／佐藤 善一(荒浜実行組合 組合長)
伊藤 房雄(東北大学大学院農学研究科 教授)
制度利用／緊急雇用創出事業(震災等緊急雇用対応事業)

岡田生産組合

震災前から組合で収穫した米や大豆を使い、味噌の加工販売に取り組んでいました。津波で加工場は流されましたが、市やJA仙台の支援を受け、平成24年4月に場所を内陸に移して加工場を再開。被災した地域の女性たちも、働く場所ができて張り切っています。25年には2年3作(米・麦・大豆)の営農を再開しました。26年は受委託している農地を作業するメンバーで割り振りし、ハウス栽培などに分担しようと考えています。水稲も3班体制で取り組み、収益を上げられるよう頑張ります。



オリザ賞の大賞を受賞した味噌



遠藤 源二郎さん

設立/平成20年4月17日
所在地/宮城野区岡田字南在家107-3
代表/遠藤 源二郎(組合長)
制度利用/東日本大震災農業生産対策交付金
特区指定/農と食のフロンティア推進特区
第6回オリザ賞「大賞」受賞
(平成24年11月19日)
平成25年度宮城県農業・農村活性化女性グループ等表彰「最優秀賞」受賞
(平成26年2月4日)

畑の中のごはん屋 ちょっくら

家屋は無事でしたが、畑や農業資材が津波で被災しました。片付けにきてくれたボランティアさんたちに人の繋がりの大切さを感じ、私たちも何かお返しができるかと思って始めたのが、この店です。

(加藤 一さん)

ヨーロッパのように、農業を営みながら農家レストランをやりたい。そんな夢が、市の6次化の取り組みに推薦され、実現しました。週2回だけですが、自家製の採れたて野菜を使った料理をお出ししています。お客さまも全国から来てくださって、開業1年を待たずに2,000人を超えま

した。イベントのときなどは近所の人たちが喜んで手伝いに入ってくれます。営業できているのは、地域の人たちのおかげでもあるんです。

(加藤 和江さん)



加藤 一さん・和江さん



開業/平成24年12月11日
所在地/若林区日辺字宅地96
事業者/加藤 一・和江

株式会社 耕(カルチェ) 農家レストランカルチェ

将来を見据えた農業経営を目指して平成23年10月に法人を設立。社名の「耕(カルチェ)」は、「耕す=カルティベート」と「文化=カルチャー」に由来する。東部地区でつくった野菜の美味しさを仙台圏の消費者に広めるため飲食事業も展開。店での需要が多く作業効率の良いリーフレタスを有機肥料を多く使って栽培し、地産地消の一面を担う。「耕(カルチェ)」発で他の地域に誇れるような品質のブランド野菜を開発していくことを目標に、6次化に取り組む。

東北一の繁華街の国分町で若林区六郷の野菜を提供し、地産地消に貢献しようと店を始めました。お客さまとの会話から六郷の農産物の販路が生まれることもあるので、旬の情報発信も積極的に行っています。



引地 匠さん



●(株)カルチェ
設立/平成23年10月18日
本社/若林区沖野7丁目35-30
役員/相原 賢徳(代表取締役)
制度利用/野菜・花きパイプハウス緊急設置事業
●農家レストランカルチェ
開業/平成23年12月15日
所在地/青葉区国分町2丁目6-20
国分町ビルB1F
店長/引地 匠

株式会社 舞台ファーム

「赤ちゃんが食べても安心、安全」をテーマに、生産からお客さまの口に入るまでの総合的な経営を行っています。被災後は、東部地域から農業の新しいビジネスモデルを生み出すためにチーム一丸となって取り組んできました。家業から企業としての農業へ転換を図るには、売上げや企業としての責任の重さ、リスクにもきちんと向き合わなければなりません。中でも大切なのは、損益計算書をもとに会話ができることと、食品の安全を確保することです。東部地域には、仙台圏の食料の備蓄倉庫となる力があります。また、私たちのように

障がい者と一緒に農業ができる環境をつくっていくこともできます。良い事例を積み重ねて東部地域の農業を広げ、復興を成し遂げたいと思います。



針生 信夫さん



設立／平成16年8月2日
所在地／若林区日辺字田中11
代表／針生 信夫(代表取締役)
第19回「東北ニュービジネス大賞」受賞
(平成25年1月29日)

イーストアグリ六郷

震災後、地域のやる気のある農家に集まってもらい、共同営農組織「イーストアグリ六郷」を設立しました。いち早く営農を再開できたのは、津波で失った資機材をリース事業で揃え、行政から様々なアドバイスを受けられたからです。何度か冠水被害にも遭いましたが、みんなで頑張って乗り越え、栽培した野菜で何とか収入を上げられるようにもなりました。これからは法人化して若い人たちを雇用し、後継者として育てていくことも考えていかなければなりません。米は1年ぐらい経験すれば覚えますが、野菜は作付や販売など学ぶ

ことが多くあるので、自立するまで3年はかかります。じっくり向き合って、私たちが蓄えてきた知識や技術を継承していきたいと思います。



三浦 善一さん



設立／平成23年5月27日
所在地／若林区今泉1丁目20-54
(JA仙台六郷支店内)
代表／三浦 善一(組合長)
制度利用／東日本大震災農業生産対策交付金

農事組合法人 クローバースファーム

一緒に農業をやっていた「笹屋敷水稻施設共同利用組合」のメンバー3人で、単なる復旧を目指すのではなく、もっと前向きに農業を考えていこうと話し合い、クローバースファームを立ち上げました。「七郷みつば会」の仲間1名も加わり、現在は4人で水田37ha、畑5a、ハウス1100坪、育苗用ハウス560坪を運営しています。クローバースファーム設立後はトマトやチンゲン菜の栽培に取り組み、生協やJA仙台の直売所、スーパーの3ヶ所に出荷しています。米は以前の取引先に加え、農社や米穀商などからも取引の申し出が

あり、出荷量も増やしていく予定です。将来は、トマト加工品の開発、それと人が集まるような直売所をつくってみたいと思っています。



菊地 柳秀さん



設立／平成24年4月11日
所在地／若林区荒井字養賢堂19-20
代表／菊地 柳秀(代表理事)
制度利用／東日本大震災農業生産対策交付金
特区指定／農と食のフロンティア推進特区

仙台農業協同組合 農産物直売所たなばたけ 高砂店

復興のシンボルとなることを願ってオープンしました。出荷会員の大半が、東部農業地域に畑を持っていた方です。最初は、地場の農産物がなかなか集まりませんが、直売所は少量でも出荷可能なので、徐々に「試しに作ってみよ」「津波を被った農地でもこういう野菜ができたよ」と出荷する方が増えました。「たなばたけ」が復興に向かって一歩を踏み出すきっかけになったのだと思います。今後は、直売所への出荷が所得の安定につながるよう、しっかり支えていかなければなりません。出荷会員の代表者と毎月1回店

舗運営の会議を開き、消費者ニーズの変化についても学ぶようになっています。お客さまの望む農産物を作って出荷し、所得の向上につなげてほしいと思います。



庄司 和広さん



開業 / 平成23年10月8日
所在地 / 宮城野区福室2丁目7-30
定休日 / 水曜・年末年始
営業時間 / 10:00~18:00
店長 / 庄司 和広

一般社団法人 ReRoots(リルーツ)

川内コミュニティセンターに避難した学生や社会人によって結成されたボランティアサークルです。津波で被災した農地のがれき撤去をきっかけに、東部地区で営農を再開する方々の農業支援に取り組んできました。現在のメンバーは50人。若林区のボランティアハウスを拠点に「ReRootsファーム」(畑)での野菜栽培、「若林区復興支援ショップりまあと」での農産物販売、市民農園の運営など、農家の方々の生活再建を柱に支援活動を進めています。今後は、自らが農業の担い手となり、コミュニティ再生などで地域に貢献できる農業を

目指すとともに、グリーンツーリズムや新規就農者を増やすためのファームステイなどにも取り組んでいきたいと考えています。



広瀬 剛史さん



設立 / 平成23年4月18日
連絡先 / 若林区荒浜字今泉59-3
若林ボランティアハウス
代表 / 広瀬 剛史
REVIVE JAPAN CUP「復興まちづくり大賞」受賞(平成26年2月14日)
毎日地球未来賞「クボタ賞」受賞(平成26年2月16日)

仙台農業協同組合

農業の現場との接点が多いという特徴を活かし、市の委託による被災農家の緊急雇用や、被災農家の意向調査など、農業者と行政の調整役を担ってきました。東部地域は農業機械がすべて流失し、いままでのような個人営農は困難です。今後は集落営農組織や農業法人を中心にした農業を展開していきたいと考えています。

(渋谷 奉弘さん)

「荒浜プロジェクト」で農業支援に携わっています。ほ場整備が終われば1区画1haの大きなほ場が連なる地区に生まれ変わります。広大な農地を活用して、いかに

効率よく農業経営ができるかが今後の課題です。

(新居田 直樹さん)



※談話 / 渋谷奉弘さん(右)(JA仙台総務部 震災復興推進課 課長)、新居田直樹さん(左)(JA仙台総務部 震災復興推進課、JA越智今治より支援のため出向)



設立 / 平成10年3月1日
連絡先 / 宮城野区新田東2丁目15-2
代表 / 遠藤 睦朗(代表理事組合長)

東日本大震災発生から東部農業地域の復旧・復興の歩み(仙台東地区・四郎丸地区)

平成 23 年		平成 24 年	
3月11日	東日本大震災発生	11月30日	「仙台東地区震災復興計画」策定 ・「力強く農業を再生する」農と食のフロンティアプロジェクト策定
3月20日～26日	〈仙台東地区〉被災した基幹排水機場に仮設ポンプ設置	12月上旬	〈仙台東地区〉基幹排水機場の応急復旧工事（～H24年6月中旬）
3月25日	市長農業被災状況視察 ・東北大学大学院農学研究所教授同行 国分 牧衛教授（作物学）・南條 正巳教授（土壌分析学）他 ・全壊した排水機場の確認 ・海水の浸透した水田の土壌調査等実施	12月13日	第10回 仙台東地区農業災害復興連絡会 ・ほ場整備の区域（素案）について 他
3月29日～30日	塩害状況調査を実施 調査主体：仙台市、宮城県仙台農業改良普及センター、JA 仙台	12月18日～26日	〈仙台東地区〉第2回 仙台東地区復旧・復興事業説明会（高砂地区、七郷地区、六郷地区） ・区画整理事業区域（素案）について 他
4月1日	「仙台東地区震災復興基本方針」公表	12月28日	農地のがれき撤去完了
4月5日	第1回 仙台東地区農業災害復興連絡会 ・仙台東地区の農業被災状況について ・仙台東地区における排水の確保について ・今後の進め方について 他	平成 24 年	
4月14日	市長と農業団体の意見交換会 ・被災状況及び要望事項 ・復興に向けた取り組み 他	1月1日	〈仙台東地区〉東北農政局「仙台東土地改良建設事業所」開設
4月15日	第2回 仙台東地区農業災害復興連絡会 ・組織体制について ・今後の運営について	1月17日	〈仙台東地区〉津波被害エリア500haの農地復旧及び除塩工事に着手（～3月下旬）
5月15日	〈仙台東地区〉一部水田に通水開始	1月27日	〈四郎丸地区〉四郎丸地区農業復旧・復興事業に係る懇談会 ・復興交付金事業におけるほ場整備について ・今後のスケジュール
5月16日	第3回 仙台東地区農業災害復興連絡会 ・東部地区のまちづくりに向けた方針について ・国の補正予算関連の事業について 他	1月31日	第11回 仙台東地区農業災害復興連絡会 ・ほ場整備事業区域（概定）について ・ほ場区画の形状について 他
5月30日	〈四郎丸地区〉中田地域農業復興組合設立 「仙台東震災復興ビジョン」策定	2月4日～8日	〈仙台東地区〉第3回 仙台東地区復旧・復興事業説明会（高砂地区・七郷地区・六郷地区） ・ほ場整備事業区域（案）について ・ほ場区画の形状（案）について 他
5月31日	〈仙台東地区〉仙台東地区の直轄特定災害復旧事業を要請（仙台市長から宮城県知事へ）	2月15日	「農と食のフロンティア推進特区」申請
6月9日	第4回 仙台東地区農業災害復興連絡会 ・「仙台東震災復興ビジョン」の説明について ・「東日本大震災に関する緊急要望」について 他	2月20日	第12回 仙台東地区農業災害復興連絡会 ・ほ場整備の事業区域（案）について ・「（仮称）農と食のフロンティア推進特区」について 他
6月12日	〈仙台東地区〉高砂地域農業復興組合設立	3月2日	「農と食のフロンティア推進特区」認定
6月15日	〈仙台東地区〉七郷地域農業復興組合設立	4月1日	仙台市経済局農林部に「東部農業復興室」を設置
6月16日	〈仙台東地区〉六郷地域農業復興組合設立	4月5日	〈仙台東地区〉第1回 仙台東地区ほ場整備事業推進協議会 ・会長、副会長の互選について ・協議会、幹事会、検討部会の構成について ・今後の協議会等の進め方について
7月1日	農地のがれき撤去作業着手	4月27日	〈仙台東地区〉第2回 仙台東地区ほ場整備事業推進協議会 ・区画計画、道水路計画等について ・営農計画、農地集積計画の基本的な考え方 ・換地設計基準（案）の例示
7月8日	第5回 仙台東地区農業災害復興連絡会 ・除塩対策の取り組み状況について ・農地のがれき撤去開始について ・被災農業者支援策について ・復興計画策定の進捗状況について 他	5月上旬	〈仙台東地区〉津波被害エリア1,800haのうち500haの農地で営農再開 〈四郎丸地区〉津波被害エリア58haのうち57haで営農再開
8月5日	〈仙台東地区〉東日本大震災における仙台東地区の復旧についての要望書提出（仙台市長から東北農政局長へ）	5月7日	〈四郎丸地区〉四郎丸地区ほ場整備事業に関する説明会 ・ほ場整備事業の概要について ・ほ場整備事業推進体制について
8月9日	第6回 仙台東地区農業災害復興連絡会 ・除塩地区における観測ほ場の生育調査結果などについて ・東部地域の農業・農地の復旧・復興スケジュールについて ・東部地域の農業復興の方向性について 他	5月11日	第13回 仙台東地区農業災害復興連絡会 ・仙台東地区ほ場整備事業の進捗状況について ・平成24年度における農地災害復旧工事について 他
8月24日	第7回 仙台東地区農業災害復興連絡会 ・宮城県復興計画最終案等について ・東部地域の農業復興の方向性に対する意見交換 他	5月15日	〈仙台東地区〉津波被害エリア900haの農地復旧及び除塩工事に着手（～H25年3月下旬） 〈四郎丸地区〉四郎丸地区ほ場整備事業に関する説明会 ・ほ場整備事業の概要について ・ほ場整備事業推進体制について ・今後のスケジュールについて
8月26日	〈仙台東地区〉直轄特定災害復旧事業（仙台東地区）の施行についての通知（農林水産大臣より）	5月22日～24日	〈仙台東地区〉第1回 仙台東地区ほ場整備事業検討部会（高砂地区・七郷地区・六郷地区） ・区画計画、道水路計画等について ・換地方針の検討 他
9月20日	「仙台東震災復興計画」（中間案）策定	5月23日	〈四郎丸地区〉第1回四郎丸地区ほ場整備事業推進委員会設立総会 ・ほ場整備事業の計画について ・名取地区（四郎丸地区）ほ場整備事業推進体制について 他
9月22日	第8回 仙台東地区農業災害復興連絡会 ・「仙台東震災復興計画」（中間案）の報告について ・「JAの復旧・復興対策」について 他	5月30日	市長農業復旧状況視察 ・東北農政局同行（排水機場の復旧状況・除塩工事の状況） ・水耕栽培のトマト生産状況
9月27日	市長農業復旧状況視察 ・除塩作業を行った水稲の生育状況 ・農業者と民間企業等の連携で始まったトマト栽培 ・津波浸水区域の転作大豆の生育状況 ・排水機場の復旧状況	6月11日	〈四郎丸地区〉第1回 四郎丸地区ほ場整備事業検討部会 ・協議会設立総会の報告 ・意向調査票について ・今後のスケジュールについて
10月27日	市長記者発表 ・ほ場整備事業の農業者負担分を市が負担することについて表明	6月19日～24日	〈仙台東地区〉第2回 仙台東地区ほ場整備事業検討部会（高砂地区・七郷地区・六郷地区） ・先進地視察意見交換会 他
10月31日	第9回 仙台東地区農業災害復興連絡会 ・東部地域の再整備について 他	6月28日～7月8日	〈仙台東地区〉第1回 仙台東地区ほ場整備事業集落説明会（延べ13回開催） ・農地復旧（除塩）スケジュール、排水機場の復旧について ・区画計画、用排水路計画等について ・被災地域農業復興総合支援事業（リース事業）、農地の利用集積について
11月上旬	〈仙台東地区〉用排水路等の応急復旧、農地の堆積土砂撤去・除塩工事開始（～2月下旬）		
11月9日～14日	〈仙台東地区〉第1回 仙台東地区復旧・復興事業説明会（高砂地区、七郷地区、六郷地区） ・平成24年度営農再開に向けた復旧工事の進め方について ・農地災害復旧関連区画整理事業について		

7月17日	〈仙台東地区〉第3回 仙台東地区ほ場整備事業推進協議会 ・集落説明会の開催状況について ・今後の進め方
7月17日 ～25日	〈仙台東地区〉第3回 仙台東地区ほ場整備事業検討部会（高砂地区・七郷地区・六郷地区） ・土地改良事業計画概要（案）について ・ほ場整備標準図について 他
7月20日	「農事組合法人仙台イーストカントリー」を農と食のフロンティア推進特区の第1号として指定
7月24日	〈四郎丸地区〉第2回 四郎丸地区ほ場整備事業検討部会 ・実施区域の決定について ・意向調査の状況報告 ・基本計画案について 他
8月7日 ～8日	〈仙台東地区〉第4回 仙台東地区ほ場整備事業検討部会（高砂地区・七郷地区・六郷地区） ・集落説明会について ・換地の進め方について 他
8月8日	〈四郎丸地区〉第3回 四郎丸地区ほ場整備事業検討部会 ・ほ場整備事業計画の概要について ・ほ場整備事業実施区域について ・ほ場整備事業の換地について ・推進委員会（集落説明会）の日程について 他
8月10日	〈仙台東地区〉第4回 仙台東地区ほ場整備事業推進協議会 ・第1回集落説明会での主な質問・要望と回答について ・事業計画概要書（案）等について ・第2回集落説明会開催について 他
8月26日 ～9月9日	〈仙台東地区〉第2回 仙台東地区ほ場整備事業集落説明会（延べ25回開催） ・第1回集落説明会での主な質問・要望と回答について ・仙台東地区のほ場整備事業計画概要について
8月27日	〈仙台東地区〉仙台東地区ほ場整備事業法手続き着手
8月29日	〈四郎丸地区〉第2回 四郎丸地区ほ場整備事業推進委員会総会 ・ほ場整備事業計画の概要について ・ほ場整備事業実施区域について ・ほ場整備事業の換地について ・推進委員会（集落説明会）の日程について 他
8月30日	第14回 仙台東地区農業災害復興連絡会 ・国営仙台東土地改良事業計画の概要について ・被災地域農業復興総合支援事業（リース事業）について 他
9月3日	東北大学大学院農学研究科との連携協定
9月19日 ～20日	〈仙台東地区〉第5回 仙台東地区ほ場整備事業検討部会（高砂地区・七郷地区・六郷地区） ・第2回集落説明会の開催結果について ・工事計画に対する要望等について 他
10月11日 ～12日	〈仙台東地区〉第6回 仙台東地区ほ場整備事業検討部会（高砂地区・七郷地区・六郷地区） ・第3回集落説明会について ・工事計画関連用水ブロック分会 ・換地・評価・工事委員の選任について
10月16日	〈仙台東地区〉用水ブロック会議南方・藤田・神屋敷・笹屋敷・荒浜集落で用水ブロック会議が始まる
10月17日	〈仙台東地区〉第5回 仙台東地区ほ場整備事業推進協議会 ・計画概要書の公告・住民意見聴取の結果 ・工事計画（工事検討部会）について ・換地計画（換地検討部会）について 他
10月23日 ～11月11日	〈仙台東地区〉第3回 仙台東地区ほ場整備事業集落説明会（延べ27回開催） ・ほ場整備事業計画について ・集落説明会での主な質問・要望と回答について ・事業計画概要書の同意徴収について
10月29日～31日	〈仙台東地区〉仙台東地区ほ場整備事業同意徴収に向けた説明会
11月6日	〈四郎丸地区〉第4回 四郎丸地区ほ場整備事業検討部会 ・集落説明会の日程等について ・ほ場整備工エリアの除外地の確認 他
11月10日	〈仙台東地区〉仙台東地区ほ場整備事業同意徴収開始
11月18日	〈四郎丸地区〉第3回 四郎丸地区ほ場整備事業推進委員会総会 ・ほ場整備事業計画の概要及び概要書について ・ほ場整備事業の換地について ・換地・評価委員について
11月19日	〈四郎丸地区〉四郎丸地区ほ場整備事業法手続き着手
12月4日 ～5日	〈仙台東地区〉第7回 仙台東地区ほ場整備事業検討部会（高砂地区・七郷地区・六郷地区）

12月4日 ～5日	・第3回集落説明会の結果について ・用水ブロック分会検討状況について ・同意徴収の状況（速報）について 他
12月12日	〈仙台東地区〉第6回 仙台東地区ほ場整備事業推進協議会 ・用水ブロック分会の検討状況について ・換地評価工事委員会（スケジュール）について 他
平成 25 年	
1月上旬	〈仙台東地区〉津波被害エリア 400ha の農地復旧及び除塩工事に着手
1月5日	〈四郎丸地区〉四郎丸地区ほ場整備事業同意徴収開始
1月8日	〈仙台東地区〉換地・評価・工事委員会開催（六郷地区井戸）
1月17日 ～23日	〈四郎丸地区〉第5回 四郎丸地区ほ場整備事業検討部会 ・同意徴収体制について
1月30日	〈四郎丸地区〉第6回 四郎丸地区ほ場整備事業検討部会 ・同意徴収状況について
2月4日	〈四郎丸地区〉宮城県営名取地区土地改良事業施行申請
2月6日 ～13日	〈仙台東地区〉第8回 仙台東地区ほ場整備事業検討部会（高砂地区・七郷地区・六郷地区） ・同意徴収状況について ・今後の法手続きのスケジュールについて
2月15日	第15回 仙台東地区農業災害復興連絡会 ・平成25年春営農再開地域におけるリース事業等の取り組みについて ・農と食のフロンティア推進特区の取り組みについて ・平成25年度における復興事業について 他
3月7日	〈四郎丸地区〉宮城県営名取地区土地改良事業施行決定
3月27日	農業機械等引渡式（被災地域農業復興総合支援事業（リース事業））
3月28日	（株）日本政策金融公庫仙台支店との連携協定
5月上旬	〈仙台東地区〉津波被害エリア 1,800ha のうち 1,400ha の農地で営農再開（H24 営農再開分 500ha を含む） 〈四郎丸地区〉津波被害エリア 58ha すべての農地で営農再開
5月7日	仙台市農業園芸センター再整備基本方針の決定
5月10日	〈仙台東地区〉第7回 仙台東地区ほ場整備事業推進協議会 ・区画整理事業計画の法手続きについて ・工事着手に向けた今後の進め方について
5月15日	市長農業復興状況視察 ・東北農政局同行（復旧農地における田植え状況） ・市から無償リースした農機具の稼働状況 ・再建されたハウス施設や農産物処理加工施設等の状況 ・若手、女性農業者との意見交換
6月4日	〈四郎丸地区〉宮城県営名取地区土地改良事業計画確定
6月22日	〈仙台東地区〉国営仙台東土地改良事業計画確定
7月16日	第16回 仙台東地区農業災害復興連絡会 ・仙台東地区及び四郎丸地区のほ場整備事業の進捗状況について ・仙台東地区の営農再開及び農地集積等の状況について ・荒浜プロジェクトについて 他
9月1日	『泉州にぎわいフェスタ』（大阪府泉佐野市開催）で仙台市の農産物等を販売（泉佐野市と仙台市の絆交流イベント）
9月5日	第1回 仙台市農業園芸センター再整備事業者評価委員会 ・募集要項、評価基準の協議
9月19日	〈仙台東地区〉国営仙台東土地改良事業工事着手 仙台市農業園芸センター再整備事業提案型事業募集開始
9月28日	市長農業復興状況視察 ・東北農政局同行 （復旧農地における収穫状況・ほ場整備工事状況） ・園芸施設の状況視察
10月22日	〈四郎丸地区〉宮城県営名取地区土地改良事業工事着手
10月25日	〈仙台東地区〉国営仙台東土地改良事業起工式
11月8日	仙台市農業園芸センター再整備事業提案型事業募集締め切り
11月29日	〈四郎丸地区〉四郎丸地区ほ場整備事業集落説明会 ・ほ場整備事業工事計画について ・換地設計基準及び土地評価基準について 他
11月30日	第2回 仙台市農業園芸センター再整備事業者評価委員会 ・提案事業者へのヒアリング
12月21日	第3回 仙台市農業園芸センター再整備事業者評価委員会 ・最優秀提案等の選定①
平成 26 年	
1月13日	第4回 仙台市農業園芸センター再整備事業者評価委員会 ・最優秀提案等の選定②
1月31日	仙台市農業園芸センター再整備事業優先交渉権者の決定
3月11日	「農の新風、ここに興る」-仙台東部地域 農業復興の記録-発刊



平成25年9月28日 若林区(仙台東部道路)上空

仙台市経済局

農林部 東部農業復興室

〒980-8671
宮城県仙台市青葉区国分町3丁目6-1 仙台パークビル9階
電話／022-214-7327 ファクス／022-214-8338

協力 農林水産省東北農政局 宮城県 仙台東土地改良区
仙台農業協同組合

制作 凸版印刷株式会社
事業 緊急雇用創出事業(震災等緊急雇用対応事業)
「東部農業の復興記録制作事業」

掲載情報は、平成26年3月1日現在の情報となります。